

日刊 磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町五番地
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷所 加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町五番地
發行所 磐城時報社
一部金貳圓一月金卅圓
廣告料一行四角半五十五圓
日刊(日曜、祭日)休刊

新辛號

年 新 賀 謹

昭和甲戌迎春賦



燦乎の光芒、靉靄の東海に一仄、浴く天地清新の祥氣に
 充ち満ちたり。正に是昭和甲戌第九の新陽である。
 炳乎の瑞光に浴し、茲に吾人は先ず謹みて無窮の聖壽萬
 々歳を奉祝し併せて江湖諸彦の清福を慶祝する。
 歳々年々春華革る毎に頌聲歡歌の都鄙に溢るゝを常とす
 る、其の慶祝すべきは當に今歳のみではない、然も吾人が昭たる海色に和し、柏椒の頌を謳ひ
 渾身を抃舞して雀躍欣喜、無上の喜悅にひたりながら此の新正を慶祝するは、空前にして絶後
 とも稱すべき飛躍への瑞兆満溢の新歳なればこそである。
 畏くも舊臘十二月二十三日非常時日本九千万同胞が齊しく御待ち申上げた我國體の大御柱日嗣
 の皇太子殿下御降誕遊ばされた、竹の園生の彌榮、畏くも尊き極み吾人億兆臣民の歡び此れに
 如くものあらむや。眸を轉ずれば高く翳せる國際正義の大旗下に舉國一致してその建國草創の
 大業に全力を傾注援助し來れる、新興滿洲國は王道の樂土として既に盤石の國礎を築き、今や
 名實共に確乎として獨立國たる威容を全世界に耀示し茲に第二の新春を迎へたではないか。
 我皇の遐邇に洽き綾威は國際的孤立の大犠牲を以て敢然決行せる滿洲國獨立の大業をして斯も
 速に全世界注視の裡に完成せしめ、米、英、佛、伊の大國以下列國擧げて神州日本の大飛躍と
 日章の大旗に風靡された慨あり、迷妄狂暴狼狽に似たる隣邦中華民國も亦爲に悦服し僭伏する
 に至つた。
 内に國體の大御柱いとも御健やかに此春陽に浴させ給ふるあり、外に滿洲國の新興躍進するあ
 り、昨日の非常時日本は今こそ世界に君臨すべく飛躍日本の階程に雄々しき門出の第一步を踏
 み出したのだ。
 生を此の神國日本に享け、此の聖世、此の大飛躍に際會せる吾人が此の春陽に浴するを得し歡
 喜何物に比し得様ぞ、茲に天下萬衆と共に今日の新正を祝福、飛躍日本の前途を壽き謹んで
 我皇の萬々歳を奉頌する。

昭和九年甲戌元旦

磐城時報社同人

年頭の辭

平町長 青沼鋒太郎

長くも舊臘十二月二十三日第二乾坤一轉して歲華茲に草まり光師團長久邇宮殿下本町御臺臨の顔ある新春を迎へ重ねて祝意を折柄旭日昇天六時三十九分九千述ぶるは最も光榮とする所であらう。皇國が齊しく御安産の程を祈ります。

奉りました。皇后陛下には御願みるに昭和八年は彼の滿洲國安らかに親王殿下を御分統遊ば御立並承認に相關聯し遂に聯盟されましたことは我々國民とし離脱を不可避ならしめ帝國を以て無限の歡びを申上ぐると共に重大なる決意をなされしめ長く小商工業も亦依然として不振の彌榮と天壤と興に窮りなき民の進むべき道を示し給

我邦現下の情勢は内外共に多事多端を極め未曾有の難局に直面するに御慶に堪へず。運日に御慶昌に竹の園生の益々たることであらう。況んや稜威ります。

目覺ましきを加へ列國驚異の的となり新興日本の意氣世界を服するの概があり國家の前途正には其の効果を洋々たるものありますが、此秋擧ぐることに方り重ねて我國體の中心たるく却て列國の大御柱が打建てられたと申す、

こよなき御慶事に會ふたのであり。國民たるもの欣持雀躍就ては收拾すべからざる破局をの實を擧げ健全なる町勢の發展して茲に 謹みて皇太子殿下の御降誕を祝し奉り邦家の萬々歳慶及國際聯盟の脱退を斷行せし川改修工事完成後賑費支辨に編を壽き奉るは固より其處でありむるに至つたのであります。

之れと全時にこの御慶事而して伊太利の提唱せる聯盟組五丁目に至る街路側溝工事に着任更に一段の重きを加へたるのは國際政治機構としての意義を亦豫定の如く進捗しつゝあり。

自覺を新たにし發奮興起し各自失ひ歐洲四國條約を根幹とす更に又町勢の發展により就學兒童は漸増に伴ひ第三小學校建設したるも尙餘隙を告ぐるを備へたるに至り全校舍に九教室の増築は猪瀬東京警中會長を始め警中

其職に淬勵し國家永遠の興隆を大國協同の制度に逆轉を見ん童は漸増に伴ひ第三小學校建設したるも尙餘隙を告ぐるを備へたるに至り全校舍に九教室の増築は猪瀬東京警中會長を始め警中

企劃遂行して無限至大なる天恩として居ります。張を計劃完成したるは本町初等出身の者が各地から多数參集す

の萬一に報ひ奉るの至試を給す。今や我帝國は聯盟脱退と北支停張を計劃完成したるは本町初等出身の者が各地から多数參集す

この限りなき感激と歡呼の裡に來東亞は滿洲問題の少康時代に教育上の慶事にして町民各位とる管で今年初頭の盛宴と豫想さ

謹賀新年

本年は御得意様の御厚意に添ふ様新年宴會費は壹圓で御料理五品御酒一本つきと致します。依つて是非御光臨下さい。様御願致します。

福島縣平町紺屋町
旅館 住吉屋 本店
電話四一五九番

豪華絢爛の繪巻 平消防の出初式

新春初頭を彩る豪華の行事平消防の「二億萬圓消火器」の威力實防組の恒例の出初式は四日午前八時、此の行事が終れば直七時一打の警鐘を相圖に全員出に聚樂館に於いて勤続二十年動平署前で服装点検後各部に別の柏原副組頭以下優良組員數十人を展開全町を練り歩く、午山署長以下各方面からの來賓を後は一時から平署西側の廣場に迎えて懇親の盛宴に移る、此於いて模擬火災や遠慮落し之余の一日は全町消防景氣に塗られは例年通り、特に今年には新發込められる。

梯子乗り、模擬火災に
新春初頭の出初式は四日午前八時、此の行事が終れば直七時一打の警鐘を相圖に全員出に聚樂館に於いて勤続二十年動平署前で服装点検後各部に別の柏原副組頭以下優良組員數十人を展開全町を練り歩く、午山署長以下各方面からの來賓を後は一時から平署西側の廣場に迎えて懇親の盛宴に移る、此於いて模擬火災や遠慮落し之余の一日は全町消防景氣に塗られは例年通り、特に今年には新發込められる。

舊師の謝恩會を兼ね 警中同窓會懇親宴

平町警城中學校同窓會では三日午後二時から平町住吉屋本店に恩師岡田毅三郎、酒井龍之進、荒木三郎、北條猛三郎の四氏を歓迎し謝恩會を兼ね盛大な新年會を開催する事になつたが、當日警中同窓會の諸君も多數參集して賑やかな懇親の宴をもち、決定した。

三日午後二時住吉屋本店で

平町新年會 開催せず

平町恒例の官民合同新年宴會は宮中喪のため今年には御遠慮申上げて開催しない事に協議の結果決定した。

謹賀新年

- 平運輸株式會社
- 平料理屋組合
- 平町旅館組合
- 石城郡各學校長
- 信川組合平庶民金庫
- 平町砂糖商同業組合
- 石城郡町村長一同
- 平三業保健組合
- 平西洋料理業組合
- 平藝妓屋組合
- 自動車協會平支部
- 湯本溫泉旅館料理店組合
- 福島貯蓄銀行平支店
- 平町會議員研究會
- 警城鐵工機械同業組合
- 平材木商業組合
- 湯本信用無盡株式會社
- 豐間大敷網事務所
- 警城片倉製糸株式會社
- 堀江工業株式會社

戊戌生れの名士

滿身此れ熱血

町議根本品藏氏

困窮の人となつた劇的體驗を有してゐる氏も亦戊戌生れの愛町熱血の正義人だ。家業は先代より質商だが名望家草野七五三之助氏の女たる夫人が此れに専念して政界の新人多田井氏をして後顧の憂ひなく活

困窮の人となつた劇的體驗を有してゐる氏も亦戊戌生れの愛町熱血の正義人だ。家業は先代より質商だが名望家草野七五三之助氏の女たる夫人が此れに専念して政界の新人多田井氏をして後顧の憂ひなく活

謹賀新年

阿部政右工門

平消防組
組頭 井上茂作
副組頭 柏原幸次郎
部長 鈴木長三郎
關内正一
岡田政次郎

任更に一段の重きを加へたるのは國際政治機構としての意義を自覚を新たにし發奮興起し各自失ひ歐洲四國條約を根幹とする其職に淬勵し國家永遠の興隆を大國協調の制度に逆轉を見ん企圖遂行して無限大なる天恩として居ります。

の萬一に報ひ奉るの至試を輪さ今や我帝國は聯盟脱退と北支停戦協定の成立を一段落として爾張を計劃完成したるは本町初等出身の者が各地から多數集集するの限りなき感激と歡呼の裡に來東亞は滿洲問題の少康時代に教育上の慶事にして町民各位とる等で今年初頭の盛宴と豫想さ

成歳生れの名士

滿身此れ熱血

町議根本品藏氏

正義果敢絶倫の努力家

平町會議員根本品藏氏は明治十然も推されて一度町政参劃の樞九四年四月二十四日生れの、今年機に加はるや、その燃ゆるが如四十九才、滿身此れ熱血の士と至誠正義に一貫する飽言はれる果敢勇猛の性格もまたなき闘志によつて町當路を鞭達こそと肯れる成年生れ……

督勵、町政革新の生氣を興へ、町の南端月見町の一角に堂々の遂に大平市建設途上不見の材幹店舖を張る根本米穀店主であつて昨春五月再度壓倒的多數りながら大は幾百千の大量取引を以つて其の地位を確保した事から少は一升、一合の秤買り配は世人のよく知るところ。

達に至るまで一人の使用人も置更らに今年度平町陪審員候補者かす獨力でやり通してゐる氏のたるの榮譽を贏ち得たが、氏の努力振りには眞に驚嘆すべきもの如き至誠熱血の士が陪審員として今日大平町一流の米穀商として其の椅子に在るとき、周囲に押しも押されぬ地位に在る無事も必らずや白目下に清るも實にや此の絶倫の精力才腕淨潔白を誇り得べく最適任の人の賜と言ふべきである。

石城政界の新人

多田井笑次郎氏

雄辯、平町會第一線の闘士

長老井上茂作氏以下多士齊々の新進中堅幹部として活躍し殊平町會に於ける最年少の町會議にその懸河の雄辯は郡下政壇輝員多田井笑次郎氏は明治三十一を彩る華とも言ふべく、齒切れ年八月二十四日成歳生れの當年のよい快辯を以つて小氣味よく三十七才。

前平町青年團長として千余の團員正しく平町會第一線の闘士員を一条亂れざる統制下に置き振らだ。

近來の名團長の名を謳はれたが少壯二十七才、三萬町民死活の昨春五月斷然町會出馬を快諾す重荷を負ふて大滝江筋問題解決るや自ら其の席を柴田氏に譲つて奔走遂に騒擾事件に連座して町政の刷新改革に全力を傾注し花澤久一郎、鈴木長三郎、馬目してゐる。石城政友部會に於ける武之助氏等先輩同志七名と共に

圓熟の境に達した

事業人森本氏

全國に誇る勞資の協調

平驛頭に威容を誇る丸通平輪株生の努力を事業に傾けてゐる氏式會社代表社員取締役森本盛一は一顧だに與えなかつた。

氏は明治七年十二月二十八日生先年全世界の不況の影響下に各れで今年還歴の春を迎えた、氏地に減俸、減給問題が惹起した亦成年生れの名士だ。

元町會議員として前々町會に同會社使用人側が一致して自發横の才腕を示した事もあるが昔的に減給を申出たことは、その年熱血滿々たる闘志を藏した氏當時事業界の美談として讃られも次第にその鋒芒を收め今や圓たが此の麗はしき勞資協調の精熟した達識の事業人として完成華も氏の如き偉大なる抱擁力とされ専心事業の進展に努めてゐる慈心厚い當路者が在つて始めて、昨春町會總改選に際し再度よくするところであらう。

の出馬を德憑する者あつたが畢

舊平藩の名家

大床石崎幸一氏

不撓の精進凝つて盤石を築

田町大通りの一角に在る大床理上げた。清爽華麗の店内に十余髮店主石崎幸一氏は明治十九年の店員と共に健闘し續けてゐる十二月二十五日生れの成歳四十氏の幼時の悪戦苦闘振りを知る九、今絶頂の働き盛りにある氏は少い。徒弟を愛する事慈父は舊平藩一流の名家石崎家に生よりも厚くその指導に當つてはを享けたが當時既に没落階級の慈母にも似た懇切叮嚀さだ、且底にあつた士族の遺見として成つて氏の人の叱聲をあびたる者人するまでの辛慘は言語に絶しとさへ言はれてゐる。

進努力は凝つて今日旭日の大平組合長として統率の才を示し又町に於いて第一の理髮師大床と推されて縣下聯合會副會長たりして搖ぎなき盤石の地位を築きし事あり同業者間に信望は高い

謹賀新年

阿部政右工門

辯護士眞木桓

柏原幸次郎

工榮商會

大谷時計病院

宮川理容所

佐々木龍若

多田井笑次郎

吉田屋染物店

高橋商會

菊地靴靴店

平町新年會
開催せず

平町恒例の官民合同新年宴會は宮中喪のため今年には御遠慮申上げて開催しない事に協議の結果決定した。

湯本信用無盡株式會社
豐間大敷網事務所
磐城片倉製糸株式會社
堀江工業株式會社

平消防組

組頭 井上茂作
副組頭 柏原幸次郎
部長 鈴木長三郎
關内正一
岡田政次郎
鈴木彌太郎
堀江正茂
高根澤 長太郎
酒井 三郎
佐川 三郎

伍長 浦井 兼作
田中 宣治
草野 喜一
金成泉 一郎
菊田 万吉

根本 時計店
會 時計店
大谷 時計店
常 盤時計店
金光堂 時計店
白 寶新川町店
山崎 時計店
星野 時計店
タイヤ堂時計店
秋山 時計店
高橋 時計店

平町計時工商業組合

早川清久
櫛田榮太郎

平町四丁目
菊地靴靴店

謹賀新年

山崎合名會社

賀正

赤堀信平
東京市瀧野川區瀧野川町
六百九十二番地
電話(王子)一三六三番

正 中野洋品店
平町二丁目(電話五三三番)

酒 銘
崇川
特約店
永山酒店
平町
電話二〇七番

石城郡小名濱町(電話三六六番)
水野罐詰工場

各學校御用達
大塚製靴部
運動具部
主 大塚鳳三郎
電話七七番

平町一丁目(電話一四一四番)
折詰造
平町一丁目(電話一四一四番)

日立木村役場
村長丸山古平
助役兼池田辰己
八幡村役場
村長今野善治
荒

謹賀新年

牛肉亭

平町南町
御料理 玉よし
電話四二六番

吉田眼科病院
吉田安雄

藤沼醫院
藤沼平治郎

金成醫院
金成忠義

矢吹醫院
矢吹大輔

酒井醫院
酒井國三郎

大和田醫院
大和田郡司

松村性病科醫院
松村鐵郎

星眼科醫院
星恒明

大森醫院
大森勇

鈴木眼科醫院
鈴木亮

東部電力株式會社
平營業所

吉村製綿店
電話二五七番

マルトモ書店
電話二三四番

マルトモ運動具店
電話五九七番

マルトモ食堂
電話一三三番

土木請負業
強口唯七郎

杉山炭礦
杉山今朝吉

平新川町
谷屋吳服店
電話四三七番

平町四丁目
小野屋藥店
電話一四四番

平町五丁目
モリタヤ洋品店
電話三五三番

平町田町
東北興信所
所長赤塚彦治

平町紺屋町
紋店 吉田寅之輔
電話四七六番

平三丁目
大黒屋商店
電話一六六番

平町田町
白菊廣瀨支店
電話五四番

平二丁目
藤市蒲鉾店
電話三〇五番

平町田町
御料理 末廣
電話四二二番

平二丁目
鶴屋旅館
電話一二二番

平町二丁目
玉章堂

平町一丁目
竹松
映畫
常設
松興新
マネキ
マネキ
提携
竹松
映畫
常設
松興新
マネキ
マネキ
提携

平一丁目
世界館
館主 鈴木 石
次 寅 井 孝

平一丁目
三九二タクシ
電話三九二番

平町田町
西洋料理
コンパル
高崎松三
電話六六六番

平町田町
平撞球場
電話四六五番

帝國名倉堂
醫院
原町木町一丁目(呼)五八番

定期 高野自動車部
電話三三三番

鹿島
電話三三三番

平町三丁目
越乃家
電話三三〇番

謹賀新年 石城郡內病院

(同不序順)

織田齒科醫院
平町南町(電話四一六番)

井坂齒科醫院
平町田町(電話五九九番)

明雲堂眼科醫院
平町南町(電話六六九番)

實川齒科醫院
平町田町(電話二七〇番)

市原醫院
平町田町(電話一四四番)

佐藤齒科醫院
平町四丁目(電話五〇八番)

志賀齒科醫院
平町字五丁目

木村外科醫院
平町六丁目(電話三〇九番)

平醫院
平町五丁目(電話一九八番)

安齊外科醫院
平町新川町(電話一六〇番)

原齒科醫院
平町土橋(電話三一三番)

上田外科醫院
平町南町(電話二二九番)

增田耳鼻喉科醫院
平町南町(電話四八二番)

川井內科診療所
平町南町(電話一八一番)

伊勢屋旅館
原町南町 電話二四四番
中野屋旅館
原町南町 電話二二番
花月旅館
原町南町 電話一四四番
御料理 なか屋
原町大之助町 電話六三番

青沼醫院
耳鼻喉科
平町(電話六九二番)

謹賀新年

牛肉 御料理 石川亭
平田町 (電話四三番)



醬油 味噌 小野園次郎
平町長橋町 電話二五一番

石城郡銀行組合

諸橋外科醫院
院長醫學博士 諸橋鐵彌

三井自動車部
平町二丁目 電話六八五番

好間軌道自動車部
平町古鍛冶町 電話四二三番

平町田町 (電話二九七番)
平電力株式會社
取締役社長 栗原欣次郎

磐東銀行 金成金三
取締役支配人

平土木監督所長 小林清吉

二葉印刷所 熊謙次郎
平町仲町 電話一九三番

關彰商店平支店
平町一丁目 (電話六一番)

磐城建物株式會社
井上貞治 郎

日立木村役場
村長丸山古平
助役兼池田辰己
八幡村役場
村長今野善治
荒

勇屋履物店
電話三三七番

日立木村
村會議員 名池忠雄
村會議員 荒武左衛門
飯豐村役場
村長 藪野昶
衣治

喪中に付年頭の禮を欠く
株式會社 丸はん商店

旅館 住吉屋支店
平驛前 (電話一四九番)
御料理 酒井清

常盤自動車合資會社
石城郡勿來町

平町大町

磐城無盡商會
會長 小宅嘉久治

平町二丁目
大一屋商店
電話一三番

尼子亭
平新町 電話三三〇番

尼子自動車部
平二丁目 電話六四番

聚樂館
電話四七〇番

城山聚樂園
電話一〇九番

丸山組
飯田近治
平町田町 電話六二番

石城郡内郷村小島
佐藤三平商店
電話(平)四三〇番

平町仲町
齋藤寫眞館

紋店 吉田寅之輔
電話四七六番

渡邊外科醫院
院主 渡邊新
原町東一番町 電話一三七
花柳病科 大熊醫院
院長 大熊直俊
入院隨意原町東一番町 電話二二九

平町三丁目
越乃家
電話三三〇番

平驛前
野崎自動車部
電話六五九番

昭和タケシ
電話三四三番

平町田町
御料理 君乃家
電話三八二番

西洋家具、椅子、寢臺
長谷川椅子店
平三丁目

御料理 平田町
初音
草野村新舞子
初音分店

平鍛冶町
吉田屋吳服店
電話百二十一番

磐城共濟病院
院長醫學博士 石山謙郎

中島寫眞館
中島孟

平町材木町
大日本モリス興業株式會社
福島縣營業所

星野庸治
端山正男

平町四丁目
伊勢屋商店
電話四十五番

平町字搦道小路
材木商 佐藤福太郎
電話三三五番

好間村
村會議員一同

平撞球場
平田町 (電話四六五)

帝國名倉堂院 原清
整骨院 院主 原清
原町木町一丁目 電話(呼)五八番
定期 高野自動車部
鹿島 電話三三三番

伊勢屋旅館
原町驛前 電話二一四

中野屋旅館
原町驛前 電話二一四

花月旅館
原町驛前 電話一四番

御料理 なか屋
原町大之助町 電話六三三番

耳鼻咽喉科 山内醫院
平田町 (電話六九二番)

萩原齒科醫院
平南町 (電話三五九番)

賀澤眼科醫院
平南町 (電話七二番)

小林醫院
勿來町 電話四八番

片岡醫院
植田町 電話一〇七番

森合齒科醫院
植田町 (電話七一〇番)

前田醫院
植田町 (電話二二四番)

中村醫院
小名濱町 (電話一八番)

久保田醫院
小名濱町 (電話二二二番)

島田醫院
內郷村宮 (電話八番)

籠倉醫院
湯本町 (電話二二二番)

謹賀新年 石城郡內病醫院

山崎與三郎	安島重三郎	鎌田安
-------	-------	-----

豐間郵便局長
遠藤章

植田郵便局長
馬上守一

勿來製氷株式會社
小松章

帝國在郷軍人平分會
藤田榮助

平町新川町
田中宣治

坂本紙店

和泉屋旅館

鈴木自動車部
根本園茶店

大床 石崎幸一
平町(電話一八八)

處方調劑 平五丁目
山野邊藥局

石城郡高久村
鈴木喜太郎

助役 本馬武

平町田町
三三三屋肉店

旅館 扇屋
平町(電話一六五)

大藪村役場
今野義意

四倉驛前
鈴木牛乳舎

小室萬五郎

江名 信用販賣組合
組合長 太清左衛門

豐間大敷網事務所

豐間漁業組合
組合長 遠藤惣三郎

謹賀新年 甲陽館
平町前(電話一四八番)

石城郡豐間村長 鈴木藤次郎

縣會議員 石川德壽

縣會議員 野崎滿藏

賀正 天地堂
平町三丁目(電話五八九番)

平町長 青沼鋒太郎

石城郡養蠶業組合長

酒井 猶次

磐城建物株式會社
井上貞治

東京後藤衛生綿特約店
田卷隆一商店

雜貨 田卷隆一商店
平町(電話六七一番)

土木建築請負
時田子之助

荒川藥舖
本町(電話百二十番)

護賀新年

謹賀新年

縣會議員 佐藤政藏

縣會議員 太田秋之助

縣會議員 猪狩雄祐

縣社中村神社 代千信

縣社太田神社 內清賢

縣社小高神社 胤良

縣社海老澤稻荷神社 傳

縣社石神村 左內

縣社大黑社 小高町大井

縣社山津見神社 松太郎

縣社八坂神社 伊織

縣社八坂神社 野至信

縣社鹿島神社 鹿島町

縣社鹿島神社 鹿島町

縣社鹿島神社 鹿島町

縣社鹿島神社 鹿島町

眞野村信用組合
組合長 池田長八

新田川鮭蕃殖組合
組合長 星源太郎

原町耕地整理係
阿部利助

磐城無盡商會原町出張所
主任 吉村今朝太郎

湯本無盡商會原町出張所
主任 吉村今朝太郎

株式會社七十七銀行
相馬原町支店

株式會社常磐銀行
原町支店

福島電燈株式會社原町營業所

原町紡績株式會社工場

原町材木商組合

木幡銃砲火藥店
原町本町二丁目(電話三五番)

綿屋吳服店
小高町(電話七番)

石田屋吳服店
小高町(電話四七番)

廣瀨千代吉商店
小高町(電話四一番)

油屋吳服店
林治

龜屋酒造店
佐藤清四郎商店

佐藤鐵藏

眞野村信用組合
組合長 池田長八

新田川鮭蕃殖組合
組合長 星源太郎

原町耕地整理係
阿部利助

磐城無盡商會原町出張所
主任 吉村今朝太郎

湯本無盡商會原町出張所
主任 吉村今朝太郎

株式會社七十七銀行
相馬原町支店

株式會社常磐銀行
原町支店

福島電燈株式會社原町營業所

原町紡績株式會社工場

原町材木商組合

木幡銃砲火藥店
原町本町二丁目(電話三五番)

綿屋吳服店
小高町(電話七番)

石田屋吳服店
小高町(電話四七番)

廣瀨千代吉商店
小高町(電話四一番)

油屋吳服店
林治

龜屋酒造店
佐藤清四郎商店

佐藤鐵藏

眞野村信用組合
組合長 池田長八

新田川鮭蕃殖組合
組合長 星源太郎

原町耕地整理係
阿部利助

磐城無盡商會原町出張所
主任 吉村今朝太郎

湯本無盡商會原町出張所
主任 吉村今朝太郎

株式會社七十七銀行
相馬原町支店

株式會社常磐銀行
原町支店

福島電燈株式會社原町營業所

原町紡績株式會社工場

原町材木商組合

木幡銃砲火藥店
原町本町二丁目(電話三五番)

綿屋吳服店
小高町(電話七番)

石田屋吳服店
小高町(電話四七番)

廣瀨千代吉商店
小高町(電話四一番)

油屋吳服店
林治

龜屋酒造店
佐藤清四郎商店

佐藤鐵藏

御料理 長尾 平紺屋町(電一六五)

大野村役場 村長 今野義意

土木建築請負 時田子之助 小高町

荒川藥舖 本町 電話百二十番

福浦村役場 村長 安部一衛

東洋瓦製造販賣 本町 渡邊熊藏

原町郵便局長 岩崎清

金房村役場 村長 草野利八

牛乳搾取業 眞野村江垂 菅養舎 武田三郎

鹿島町役場 町長 高田淺治

林藥品商會 小高町

搦油製造業 中村町 會津屋 佐藤鐵藏

外支局員一同 原町

上真野村役場 村長 高野與祖次郎

助役 池田清孝 助役 伏見金秀

收入役 羽根田權 收入役 門馬常治郎

護賀新年

小室 萬五郎 四倉町字原田

齋 藤 義 臣 四倉町原田

四倉町長 新妻 盛

木村 守江 四倉本町(電話三十五番)

四倉小學校職員俱樂部

大浦小學校職員俱樂部

草野小學校職員俱樂部

三星商會 電話一四七番

肥料、石炭、土木建築 設計請負

昭和産業會社 四倉驛前(電十八番)

四倉町役場 助役 菅波千之助 分會長 木田雅風

大野村消防組 組頭 木村庄助

草野村 村長 鈴木長壽

草野消防組 組頭 新妻孝太郎

雙葉那久之濱町 町長 木村倉治 外吏員一同

久之濱町會議員 同

久之濱北町 龜屋旅館 電話二番

四倉藝妓屋組

江口 清 四倉町原田

東部電力株式會社 四倉營業所 電話六番

大浦村役場 助役 佐藤信敬

平屋吳服店 四倉本町 電話五九番

大倉實踐女學校 校長 早川佳子 職員 赤塚カクヨ

四倉驛前 關彰商店 四倉支店 電話四十八番

四倉購買信用組合 仲町 電話一三六番

藤本峰太郎 原田 電六四

製一品料理 一心 四倉仲町 電話七四

銘酒しらす 佐藤仲商店 新町 電四一

味噌、醬油、醸造元

植田材木店 貨物自動車部 仲町 電話百十三番

味噌、醬油、醸造元

鱗屋合名會社 新町 電話百〇八

四倉驛前 吉田醫院 院長 吉田正 電話三十番

四家營業所 本店 內 鄉 村

銘酒 生 盛 味噌、醬油

滿壽屋酒店 新町 電一四三番

產 中野トク 四倉仲スカ町

切昆布製造 丸合會社 本田辰吉 四倉海岸

銘酒 花井之譽 大平支店 新町 電話百三十五

鳥豚肉 賣買 鈴木太平 新町 電話百四十六

新町 電話(呼)一四一

四倉驛前 四倉運送店 電話二一十番

產婆 鈴木シマ 四倉仲町

土木請負業 西山新重郎 大野村字柳生

旅館 藤屋 大野村字玉山湯ノ澤

鐵泉 木村醫院 大野村字山田

鐵泉 石屋 草野 金藏

玉山旅館 草野 金藏

鈴木眼科院 四倉仲町

萬仕立物 各種 田中喜平 夏井號 本町

處方調劑 深谷藥局 四倉新町 電話二十八

佐藤八之助 四倉新町

平熊藥店 永井勇次郎 本町

四倉盛座

海盛座

草野驛前 赤塚自動車部 草野、高久間乘合

東部電力株式會社 四倉變電所

菅家長夫 山田 德夫

高木久三

紙屋吳服店 仲町 電百二十一

四倉町會議員(順不同)

青成 岩公 岩九 吉

小波 宗太 宗太

菅波 康太 康太

須藤 久兵衛 久兵衛

古河 定次郎 定次郎

長谷川 萬次郎 萬次郎

植田 三太郎 三太郎

吉田 龜三郎 龜三郎

大和 幸次郎 幸次郎

鈴木 美太郎 美太郎

豐田 彌美太郎 彌美太郎

吉田 彌美太郎 彌美太郎

菅波 彌美太郎 彌美太郎

長谷川 彌美太郎 彌美太郎

大浦村會議員(順不同)

高崎 周平 周平

仲野 忠平 忠平

新木 貴林 貴林

高木 貴林 貴林

渡邊 貴林 貴林

根木 貴林 貴林

新川 貴林 貴林

會川 貴林 貴林

愛川 貴林 貴林

石城郡小名濱町 水野技藝女學校 校長 水野ヒロ

一本松電氣株式會社 小名濱支店

謹賀新年 關內藥局

病氣中に付年頭の禮を欠く 石城郡飯野村 山崎吉平

喪中に付年頭の禮を欠き申候 平看護婦會 清野さよ

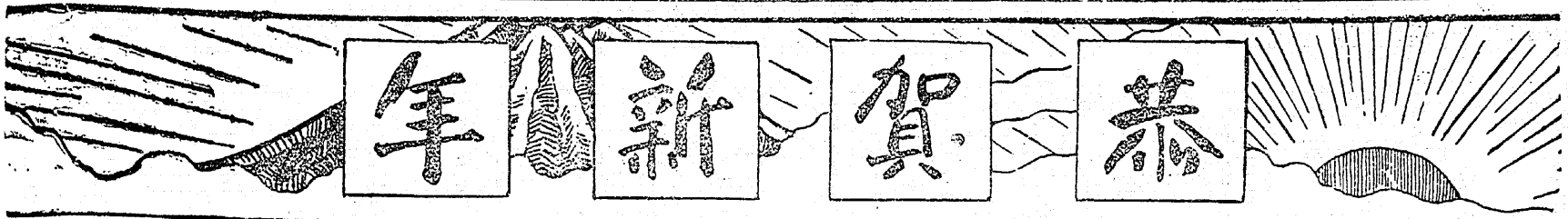
恭賀新年 仙魚店 鈴木藏太 電話六六二番

磐城水産工業株式會社 社長 小野晋平 支配人 福尾伊太郎

石城郡內郷村高坂 四家又一

賀正 石城郡小名濱町 綠屋 志賀要平 電話二九番

平町一丁目(電話四四一番) 平銃砲火藥店 渡邊貫一



<p>磐城炭礦株式會社鑛業所</p>	<p>入山採炭株式會社坑務所</p>	<p>小田礦萩原鑛業部</p>	<p>古河礦好間鑛業所</p>	<p>石城郡好間村 小田吉治</p>	<p>石城郡勿來町 大平睦四郎</p>	<p>平製氷株式會社 社長 木村清治 專務取締役 松本一郎</p>	<p>石城郡植田町 古川傳一</p>
<p>衆議院議員 佐藤庄太郎</p>	<p>衆議院議員 鈴木辰三郎</p>	<p>衆議院議員 比佐昌平</p>	<p>縣會議員 井上茂作</p>	<p>縣會議員 萩原義雄</p>	<p>成田儀六 勤先・川崎第百銀行神田支店長 自宅・東京市小石川區丸山町三一</p>	<p>平警察署長 横山宗延</p>	<p>木村清治</p>
<p>植田水力電氣株式會社 金成通</p>	<p>關內正一</p>	<p>諸橋久太郎</p>	<p>石城郡大野村 木田織江</p>	<p>小野晋平</p>	<p>錦消防組頭 山崎登</p>	<p>伊藤淺之助</p>	<p>小名濱水產株式會社</p>

諏訪神社
官主 鈴木克哉

吉田純祐

白石屋吳服店

柳井義一

吉田盛治

合資會社磐城時表社長

左 藤 作 下